

## 外国語科学習指導案

府中町立府中緑ヶ丘中学校

1 学年 第1学年1組(男子20名, 女子19名 合計39名)

2 単元名 Program10 Mike's Visit to Washington, D.C.  
SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 (開隆堂)

3 単元について

### ○単元観

本単元は、冬休みを利用してアメリカに帰国していたマイクが、ワシントンでしたことやおみやげとして買ってきたカチーナ人形のことについて、やり取りを通して由紀に伝えるという内容である。言語材料としては、規則動詞の過去形が扱われており、過去に体験したこと等について述べたり、質問したりする表現を学ぶのに適した教材である。また、疑問詞 Why の疑問文も扱われており、相手の発言内容についてさらに理由をたずねるなど、内容を具体的にたずねる質問が用いられている。

本単元は、中学校学習指導要領1目標(3)話すこと[やり取り]ア「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」を受けて設定したものである。

本校の「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標「話すこと[やり取り]」では、「身近なものや人、自分のことについて簡単な語や基礎的な表現を用いて3往復程度の会話を続けることができる」としている。

したがって、本単元を通して、関心のある事柄について、より詳しく情報を得るための質問する力を養っていく。

### ○生徒観

本学級の生徒は、音読練習やチャンツ等の声を出す場面で活発に活動することができる。また、Small Talk やインタビューゲーム等のペア活動、グループ活動においても、協力してやり遂げようとする姿勢が多くみられる。学校評価アンケートにおいて、「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」との質問では、92.6%の生徒が肯定的評価をしており、友達と関わり合いながら、積極的に学習に取り組んでいる様子が伺える。また、「英語で会話する時に、相手が何をたずねようとしているのか注意して聞いている。」との質問には、90.1%の生徒が肯定的評価をしている。しかし、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で話そうとしている。」と回答した生徒は85.3%となっており、相手の話すことに注意を向けて話を聞くことができているが、自分自身のことについて、積極的に英語を使って表現していくことについては課題があるといえる。また、11月に実施した生徒質問紙項目(4)(5)より、学習に対する意欲に関する問いには85%以上の生徒が肯定的な評価をしているのに対して、質問紙項目(6)(7)より、他人とコミュニケーションをとることに抵抗感や苦手意識をもつ生徒が多いことも課題としてあげられる。

〈生徒質問紙 11月実施〉

	質問項目	肯定的評価	否定的評価
(1)	英語で会話をする時、自分の考えや気持ち等を英語で話そうとしている。	85.3%	14.7%
(2)	英語で会話をする時、相手が何を聞こうとしているのか注意して聞いている。	90.1%	9.9%
(3)	簡単な英語を使って、相手に質問することができるようになった。	91.9%	8.1%
(4)	英語の学習は好きである。	85.3%	14.7%

(5)	英語の授業はよく分かる。	91.7%	8.3%
(6)	英語で会話をする活動が好きである。	79.5%	20.5%
(7)	外国の人と英語を使ってコミュニケーションを図ってみたいと思う。	74.2%	25.8%

また、11月には「会話を継続する力」を見取るパフォーマンステストを実施した。生徒の能力面について分析してみると、会話を続けようとする姿（リアクションを返す、一つの答えで終わらず、さらに付け加えて答えるなど）が見られた生徒の割合は97.4%であった。多くの生徒が英語で会話を続けることに対しては、積極的であることが分かる。しかし、相手に質問をすることができた生徒の割合は、69.8%であった。そのうち、「How about you?」や「Anything else?」等の表現を用いたり、相手から既にされた質問を繰り返したりするのではなく、自分で質問を考えて相手にたずねることができた生徒は51.4%であった。また、質問の内容に関しても、What ~ do you ~?, Do you ~? のパターンが9割以上を占めており、相手の問いに対してさらに詳しくたずねたり、様々な疑問詞を用いてたずねたりするなど、幅広く質問することができていない。

これらのことから、会話を続けることへの意欲はあるものの、そのために必要な相手の発話に応じて質問する力の定着が不十分であると言える。

#### ○指導観

本單元では、総合的な学習の時間と関連付け、「ヒロシマ学習で体験したことについてお互いに伝え合おう」という言語活動を行う。言語活動を通して、ヒロシマ学習として訪れた平和公園での班別自主研修の内容について伝え合い、さらに詳しく情報を得るために質問をしながら、会話を続けていくための指導を行う。そのために、これまで学習した疑問詞や、新出の疑問詞 Why を使ったやり取りを行うことを通して、どのような問い方をすれば、相手からより詳しく情報を得ることができるかを考えさせながら、実際の活動を通して定着を図る。

單元末のパフォーマンステストとして、ALT と週末にしたことについて伝え合うという課題を設定しており、次のような流れで指導をしていく。

- ・単元の始めに、本時で行う言語活動について生徒と共有し、本單元で実施していくやり取りの目的をもたせる。
- ・授業始めに実施する Small Talk では、様々な種類の疑問詞を活用できる場面を設定し、即興的にやりとりする場面を設定する。
- ・教科書の本文のやり取りを参考に、具体的にたずねる質問の仕方や、その質問の工夫について考えさせる。
- ・Small Talk を行うごとに自己評価を行い、活動につながりを持たせる。また、言いたい表現を整理して提示するなどして、表現の幅を広げていく。
- ・良いモデルとなるやり取りの手本を示し、その良さから学び、自身のやり取りの改善を図らせる。
- ・様々な疑問詞を使った質問を、單元を通して活用させ、言語材料の定着を図る。

#### 4 単元の目標

- ・間違いを恐れず、積極的に会話をする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・相手の発話に応じて、さらに詳しくたずねるための質問をする。(外国語表現の能力)
- ・規則動詞の過去形の用法を理解する。(言語や文化についての知識・理解)
- ・疑問詞 Why を用いた疑問文の用法とその答え方を理解する。(言語や文化についての知識・理解)

5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れず，積極的に会話をしている。	相手の発話に応じて，さらに詳しくたずねるための質問をすることができる。	/	①規則動詞の過去形の用法を理解している。 ②疑問詞 Why を用いた疑問文の用法とその答え方を理解している。

6 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	総合的な学習の時間に実施した平和公園での班別自主研修で，自分の班がどのような一日を過ごしたのかをお互いに伝え合う。
目指す発話例	<p>A: Where did you visit?</p> <p>B: I visited Honkawa Shogakko and the Peace Park.</p> <p>A: What did you see?</p> <p>B: I saw Heiwano kono zo.</p> <p>A: Great. Why did you visit Heiwano kono zo?</p> <p>B: Because I wanted to know about Sadako.</p> <p>A: Oh , I see. How was it?</p> <p>B: It was beautiful and sad.</p> <p>A: What do you think?</p> <p>B: I think peace is important.</p>

7 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

【小学校における指導方法・教材を踏まえた（活用した）指導の具体】		
(1) 関連する言語材料		
We Can 1,2	We Can 1,2 → 中学校	中学校
〈We Can 2〉 Unit 5 I went to the sea. It was fun.	過去形を用いて，夏休みにしたことを紹介する。 → やり取りの中で，過去形を用いて伝えあう。	Program10 A:I visited Washington D.C. last month. B:Oh, I lived there ten years ago.

8 単元計画

時	目標 (◆)・主なやり取り等	評価規 準・ 評価方 法
1	◆「ヒロシマ学習でしたことについてお互いに伝え合おう」という、言語活動の見通しを持つことができる。	
2	◆過去形の用法を理解し、過去形を用いて訪れた場所について伝え合うことができる。 ・教科書本文のやり取りから、過去形の用法を理解する。 ・訪れた場所を聞きたいときは、疑問詞 where を用いることを確認する。 A: Where did you visit? B: I visited Honkawa Shogakko. How about you? Where did you visit? A: I visited Fukuromachi Shogakko.	エ① (活動の観察・ワークシート)
3	◆訪れた場所で体験したことを付け加えて、伝え合うことができる。 ・教科書の本文を読み、訪れた先で何をしたのか内容を付け加えていくことで、会話の内容が深まることを確認する。 A: Where did you visit? B: I visited the Peace Park. I saw many statues. A: Great! I visited Heiwanokane. I talked with foreign people.	ア (活動の観察)
4	◆過去形の疑問文の用法を理解し、体験したことについて感想を付け加えて伝え合うことができる。 ・教科書の本文を通して、過去形の疑問文の用法を理解する。 A: Where did you visit? B: I visited Peace Park. I saw many statues. A: Great! How was it? B: It was beautiful.	ア (活動の観察) エ① (ワークシート)
5	◆相手の発話に合わせた質問を加えて、体験したことについて伝え合うことができる。 ・教科書の本文のやり取りから、相手の発話に応じた質問の仕方を学ぶ。 A: Did you talk with foreign people? B: Yes, I did. A: How was it? B: It was exciting.	イ (後日パフォーマンステスト) エ① (ワークシート)
6	◆理由をたずねたり答えたりしながら伝え合うことができる。 ・教科書の本文を通して、疑問詞 why の用法を理解する。 A: Where did you visit? B: I visited the Heiwakinen Shiryokan and Honkawa Shogakko. A: Why did you visit Honkawa Shogakko? B: Because I wanted to know about kids.	ア (活動の観察) エ② (ワークシート)
7	◆ヒロシマ学習で考えたことについて伝え合うことができる。	ア (活動の

	<p>・グループで考えたピースメッセージが伝えられるようにする。</p> <p>A: Did you learn a lot? B: Yes, I did. A: What did you learn? B: I learned peace is important.</p>	<p>観察)</p> <p>イ (後日パフォーマンステスト)</p>
8 (本時)	<p>◆ヒロシマ学習で体験したことについてできるだけ詳しくたずねることができる。</p> <p>・これまで学習してきた表現を使って、詳しくたずねたり、答えたりする。</p> <p>・相手の発話に応じた質問ができるようにする。</p> <p>A: Where did you visit? B: I visited Honkawa shogakko and the Peace Park. A: What did you see? B: I saw Heiwano kono zo. A: Great. Why did you visit Heiwano kono zo? B: Because I wanted to know about Sadako. A: Oh , I see. How was it? B: It was beautiful and sad. A: What do you think? B: I think peace is important.</p>	<p>ア (活動の観察)</p> <p>イ (後日パフォーマンステスト)</p>
後日	◆パフォーマンステスト	イ (インタビューテスト)

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・ヒロシマ学習で体験したことについて、できるだけ詳しくたずねることができる。

### (2) 本時の評価規準

- ・間違いを恐れず、相づちを打ったり相手に質問をしたりして、積極的に会話をしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・相手の発話に応じて、さらに詳しくたずねるための質問をすることができる。(外国語表現の能力)

### (3) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
15	<p>○warm-up</p> <p>・曜日, 日付, 天気, 時間を生徒同士で応答する。</p> <p>○人物紹介クイズ</p> <p>・クイズの後, 英文で正しく書く。</p>	<p>・過去形でのヒントも入れ, 表現の違いを意識させる。</p>	

	<p>○Small Talk</p> <p>A: What did you do last night?  B: I watched TV.  A: What did you watch?  B: I watched ItteQ.  A: How was it?  B: It was very fun.</p> <p>・昨夜したことについて, 会話をする。</p>	<p>・リアクションや話題をふくらませていく工夫を入れていくよう声をかける。</p>	
30	<p>○学習課題の把握</p> <p>Today's Goal: ヒロシマ学習で体験したことについてできるだけ詳しくたずねることができる。</p> <p>・本時のねらいを確認する。</p> <p>○復習</p> <p>・これまで学習した表現を使って体験したことについて伝え合う。</p> <p>○Activity</p> <p>・これまで学習してきたことを使って, 質問の順番や内容を自分なりにアレンジしながら, 相手の発話に応じて会話をしていく。</p> <p>・ヒロシマ学で訪れた場所, 楽しかったこと等についてペアで話をする。</p> <p>・モデルペアのデモンストレーションを見て, 良かった点を出し合う。</p> <p>・ペアを変えて, 確認したことを取り入れながら伝え合う。</p>	<p>・「場所」「理由」などキーワードを提示し, 何についてたずねるのか整理させる。</p> <p>・これまで使ってきた表現を黒板に掲示し, 確認する。</p> <p>・どのような質問をすれば相手からより詳しい情報を得ることができるか, 考えながら伝え合う。</p> <p>・学習した順番通りではなく, 相手の発話に応じて質問をしていくことを確認する。</p> <p>・モデルを提示することで, 相手の発話に応じた質問をすることが難しい生徒への支援とする。</p>	<p>ア (活動の観察)  イ (後日パフォーマンステスト)</p>
5	<p>○まとめ</p> <p>・振り返りカードに記入する。</p>		

## 10 板書計画

<p>sunny, Friday, December 14<sup>th</sup>, Today's Goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>ヒロシマ学習で体験したことについてできるだけ詳しくたずねることができる。</p> </div>	<p>こんなことを伝えてみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○訪れた場所と理由 「どこ」？ Where did you visit?</li> <li>「なぜ」？ Why did you visit?</li> <li>○感想 「どうでしたか？」 How was it?</li> <li>○楽しんだこと 「～しましたか？」 Did you ~?</li> <li>○考えたことについて 「何を」 What do you think?</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>単元目標</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> </div>
--	--	--

## 11 パフォーマンステスト評価規準

評価の観点	外国語表現の能力
A	<p>相手の発話に応じた質問をし、詳しい情報を引き出すことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: What did you do last Sunday ?</p> <p>B: I visited Miyajima.</p> <p>A: Why did you visit there ?</p> <p>B: Because I wanted to see momiji.</p> <p>A: I see. Did you take pictures of momiji?</p> <p>B: Yes, I did.</p> <p>A: Where did you take pictures?</p> <p>B: I took them in Momijidani Park.</p> </div>
B	<p>相手から詳しい情報を引き出すための質問をすることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: What did you do last Sunday ?</p> <p>B: I visited Miyajima.</p> <p>A: I see. Where did you visit in Miyajima?</p> <p>B: I visited Momijidani Park.</p> <p>A: Did you eat oysters?</p> <p>B: Yes, I did.</p> </div>
C	<p>相手から詳しい情報を引き出すことができていない。</p>